

Think Globally Act Locally (Vol.12)

ボランティアのすすめ

前号で募集した「白寿荘でのボランティア」「渋谷幼稚園運動会でのボランティア」は、多くの応募者がありました。両方とも定期的に募集がなされるもので、回を重ねるごとに応募者が増えていくようです。参加した人達が有意義な体験をしたためであろうと推測されますし、白寿荘、渋谷幼稚園の方々から依頼が続くということは、喜んでいただけただけの結果だと思います。ボランティアというものは、日本では相変わらず少し取っつきにくいもののように感じられますが、それほどかまえずにやれるものなのです。特別な活動と考える必要はありません。この学校では「あいさつ」を奨励していますが、学外の方々が学校を訪問なさるたびに、この「あいさつ」に驚かれます。これらの方々はこの「あいさつ」によって、いわば“気持ちよく過ごす”ことが出来たのだと思います。だからこそ、この「あいさつ」に賞賛の言葉をいただくことが多いのでしょう。ボランティアを「積極的な社会参加」ととらえれば、この「あいさつ」も立派なボランティアですね。

報告

「白寿荘」よりお礼状

白寿荘より本校ボランティア部の日頃の活動に対して、白寿荘を運営する社会福祉法人 愛隣会様より丁寧なお礼状をいただきました。

飛龍祭 ボランティア企画の報告

今回の飛龍祭では、ボランティア関連のクラス企画がいくつかありました。1年3組『手話・点字教室』、1年5組『バザー』、1年B組『ボランティア』、1年E組『ボランティア&映画』などです。売上金、募金などの送り先を載せておきます。

- ・17,318円を「ユニセフ」を通じて途上国の子供たちへ
- ・49,382円を「ドイツ国際平和村」へ

ドイツ国際平和村についての紹介は下記ホームページを参照して下さい

<http://www.friedensdorf.de/japan/home.htm>

お知らせ

さて、今号よりこの「ボランティアのすすめ」は、『ボランティア部』のコーナーを設けることになりました。ボランティア部の活動内容紹介、様々なお知らせなどがありますので、楽しみにしててください。今後は「ボランティアのすすめ」と『ボランティア部』との連携を強めてより良い情報をお知らせできるようにしていきたいと考えています。

また、ボランティア関係の情報は、「生徒部ボランティア担当部署」が一括して管理することにしますので、わからないことがあればそちらへどうぞ。

ボランティア部だより

ボランティア部では10月下旬から古切手、使用済プリペイドカード、そしてベルマークを回収することになりました。カードはテレホンカードだけではなく、パスネットなど交通機関のものでも結構です。各フロアに小さな箱を設置しますので、ご協力をお願いします。

なお古切手とプリペイドカードは、森林減少の続く東アフリカのタンザニアで村人たちが取り組んでいる植林活動を支援している、タンザニア・ポレポレクラブという団体に届ける予定です。

飛籠祭でご協力いただいたバザーの収益金と募金は、品川にあるユニセフ事務所にボランティア部の代表が届けてきました。今回はカンボジアとモンゴルの教育活動を支援するという地域指定の寄付として役立てていただきます。日本ユニセフ協会学校事業部の西田部長から贈られた募金への感謝状が図書室にあります。